

# 令和4年度 活動計画書

【スポーツ団体大会開催助成】

|   |   |  |  |
|---|---|--|--|
| 助成活動細目  | 競技会開催(競技力向上活動)  |  |  |
| 助成対象者名  | 公益社団法人日本プロテニス協会   |  |  |
| 活動名   | 2022年度ニュージェネレーションテニス全国大会  |  |  |
| 優先順位/申請件数   | 1 位 / 1 件中 (スポーツ団体大会開催助成における順位を記入)  |  |  |
| 大会種別  | 全国大会  |  |  |
| 目的及び期待される効果   | 活動の特長   |  | 左記に該当する場合には、その理由を記入すること  |
|   |   | 高齢者のスポーツ活動の支援  |  |
|   |   | 障がい者のスポーツ活動の支援   |  |
|   | ○   | ジュニアの育成・子どもの体力向上   | より一層高いレベルで競技をすることで、運動能力の向上をはじめ、メンタルを含めた総合的な能力の開発および紳士・淑女のスポーツであるテニスを通じてスポーツマンシップを学び人間として男児のみならず、女児もエントリーすることができることから、高いレベルで競技を行う環境を提供し、女性アスリートの発掘と成長促進へとつなげていくことが可能なため |
|   | ○   | 女性のスポーツ参加支援(育児サポート等)   | 全国から集った精鋭たちと切磋琢磨する機会を設けることにより、競技者の更なるモチベーションの向上に寄与しつつ、自分の限界を超えてライバルと対峙することで身につく試合に勝ち切る力を   |
|   | ○   | 国際競技力の向上   | 運動する事の楽しさを伝える  |
| ○   | スポーツの裾野の拡大  |  |  |
| 基金助成金以外の収入の増加に向けた取り組みを行う  | <input checked="" type="checkbox"/> 行う <input type="checkbox"/> 行わない  | 具体的な取り組みを行う場合には、その内容を以下に記入すること。<br>・協賛金獲得に向けた営業活動、・大会写真販売に向けた制作会社との折衝、・前年度より参加者定員を増加させ、参加料収入を増やす   |  |
| 活動予算の確保状況   | 自己財源確保済   |  |  |
| 前年度実績及び当該年度見込(目標)   |   | 令和3年度実績(見込含む)<br>※実施団体のみ記入   | 令和4年度見込  |
|   | 観戦者数  | 200 人  | 400 人  |
|   | 助成金以外の活動収入額   | 3,000,000 円  | 5,500,000 円  |
|   | 団体選定の強化指定選手又はそれに準ずるトップ選手・チームの全参加者に占める割合   | 5 %  | 5 %  |
| 具体的な活動の内容(種目・期間・場所・対象者等)  | 活動の目的(いずれか1つのみ選ぶこと)   | <input type="radio"/> 地域において、広く参加者を募集し、スポーツの普及や競技技術の向上のために開催する事業<br><input type="radio"/> 当該国を統括する競技団体が派遣する代表チームが参加する事業<br><input checked="" type="radio"/> 各競技種目や年代別の日本選手権大会<br><input type="radio"/> 全国の予選会等において選抜された代表選手が出場する事業 |  |
| 具体的な活動の内容(種目・期間・場所・対象者等)  | 【実施活動の内容】   |  |  |
|   | 開催会期  | 2023年2月23日～26日   |  |
|   | 開催場所  | 北九州穴生ドーム(北九州市八幡西区鉄竜1-5-2)  |  |
|   | 参加要件  | 各地区上位1～4名(参加人数により変動)   |  |
|   | 参加予定人数  | 300 人  | 参加予定国数   |
| 活動の内容   | <<概要>><br>・全国No.1を決める大会であると同時に、優秀者に対して海外遠征をはじめとした育成プログラムまでを継続して提供することが最大の特徴であり、国内に留まらず世界で通用する選手の輩出を目指す事業。<br>・「JPTA ALL JUNIOR TENNIS TOURNAMENT」および「ジュニアスカウトキャラバン」を一体として開催することで、テニス界の将来を明るく照らす才能を見出し開花させる一貫性をもたせることも特徴の一つ。 |  |  |
| 第三者への委任の有無  | 助成対象者が自ら事業経費を執行せず、実行委員会等第三者への委託金等を支出し、事業を実施するか。※業者に請負わせるものは、委任には該当しません。   |  | <input type="checkbox"/> はい <input checked="" type="checkbox"/> いいえ  |
|   | <委任先の組織について> ※「はい」の場合には以下を記入すること  |  |  |
|   | 実行委員会等委任先の組織名称  |  |  |
|   | 実行委員会等委任先への支出形態   | <input type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他   |  |
| ※委任先への支出が、助成対象者の経理科目上、委託金に限らず負担金、交付金、補助金等であったとしても、経費内訳表(収支予算書)への計上は「委託費」科目としてください(会計処理の手引141ページ「の委託費(事務委任)」に記載されている手順で実施する必要があります)。<br>※委任先の収支予算書を提出してください。 |   |  |  |

